

使用済み切手を ありがとうございました



たくさんの使用済み切手をありがとうございます。
今回いただきました切手は、主にタイ東北部に位置する
スリン県の象の村のために使わせていただきます。

私たち静岡県ボランティア協会はタイとかかわりをもって34年、タイで活動するNGO団体を訪ねるスタディツアー「海外でのボランティア活動に学ぶ高校生スタディツアーINアジア」を毎年12月に行っています。昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で現地を訪問することはできませんでしたが、オンラインを通じて村とつながり、静岡とタイとのつながりを再認識することができました。また、一昨年のスタディツアーには8名の高校生が参加し、「象の村」として有名なスリン県タクラーン村を訪問しました。村との関わりは22年になりました。



スリン県タクラーン村には象使いとして有名な少数民族のスワイ族が暮らしています。村の人たちは、これまで長年にわたり、象とともに観光地へ出稼ぎに行き、観光客相手の仕事を生活の糧としてきました。ところが近年、大都市バンコクやパタヤでは、象が街中を歩くことで渋滞が起こる、怪我をする、環境によくないなどの理由から観光客相手に象が仕事をすることを禁止し、象が街に入ることも制限し、生まれた村へ帰されてしまいました。しかし、村には象使いと象が暮らす仕事も食べ物も充分にはありません。そこで、タクラーン村では象と生きていくために、“象の仕事を見つけること”“象が生きていくための植物を育てていくこと”を決めました。そのためには、多くの人の応援が必要です。

スタディツアーを通してタクラーン村の取り組みを知った私たちは、村の人たちの生活を応援する方法として、使用済み切手を集め、換金した資金を届けることをはじめました。この資金は、象が好きな木の植林や、食料を備えることに役立てられています。苗木が大きく育つのはまだ先のことですが、村の人たちが象とともに暮らしていけることを願い、私たちにできることを続けていきたいと思っています。

ありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。

令和4年8月1日

特定非営利活動法人 静岡県ボランティア協会
事務局長 鳥羽 茂

